

カトリック 新潟教区報

カトリック新潟教区
編集発行人 教区報編集部
〒951-8106
新潟市中央区東大通1-656
TEL. 025-222-7457
FAX. 025-222-7467

希望と喜び 教区新助祭の誕生

坂本耕太郎助祭叙階式

三月三十日、神のいつくしみの主日の午後二時から、新潟カテドラルで菊地司教司式のフランシスコ・サレジオ坂本耕太郎助祭叙階式が行われた。聖堂には現在司牧実習をしている小平教区(東京教区小平市)から駆けつけた同教会主任司祭の古賀正典神父をはじめ二十人近い小平教会信徒の方々、新潟県内各教会から修道者・信徒二〇〇人ほどが参列して、新助祭の誕生を見守り、喜びのうちに神への賛美と感謝を捧げた。

双塔から響きわたる鐘の音と入祭の歌「神よあなたのことばは」が歌われる中を、十字架を先頭に受階者に続いて十三人の司祭団が入堂して叙階式が行われた。

叙階の儀の中で参列者全員で唱える諸聖人の連願と司教按手に先立って菊地司教は次のように説教した。

「ご列席の皆さん。坂本耕太郎さんはまもなく助祭団に加えられます。そこで、この兄弟がどのような奉仕の務めを行うために叙階されるのか、ともに考えてみましょう。

この方は聖霊のたまもの強められ、神のことばと祭壇に奉仕し、愛のわざに励み、すべての人に仕えて、司教と



菊地司教は按手して聖霊の恵みを祈る

その司祭団を助けます。祭壇に奉仕する者となって福音を告げ知らせ、ささげものを準備し、主の御からだに御血を信徒に授けるのです。

助祭に叙階される坂本耕太郎さん。あなたがどのように行動したらよいかを主は身をもって示してくださいました。

助祭は弟子たちの中で、仕える者となられたイエス・キリストの役務者ですから、心から神のみ旨を行い、主に仕えるように人々にも愛と喜びをもって仕えてください。」

司教の按手と聖別の祈りが捧げられたのち、新助祭は祭服を着衣して福音書を朗読する務めのしるしとして福音書が授与されて、新助祭は菊地司教の横で最初の祭壇奉仕をした。

叙階式とミサは肅々と進み、聖歌隊が歌う拝領の歌「アヴェ・ヴェルム・コルプス」心を尽くして神をたたえよ」が聖堂に満ちた。

閉祭の「ごらんよ空の鳥」を歌う参列者の顔は輝いて希望と喜びを歌い続けた。(二面に説教の要旨掲載)



坂本新助祭は叔父夫妻と喜びを分かち合う

おことばどおりに 助祭 坂本耕太郎

新潟教区の皆様。本当にありがとうございます。お会いできた方々も、これからお会いできる方々も、本当に、ありがとうございます。

なんとかここまで歩いてきました。それが神様の助けと皆様の助けがあれば決して実現しませんでした。ありがとうございます。有り難い事に感謝する言葉です。助祭叙階が私にとって、どれほど有り難い事であるか、私が一番知っています。ですから何度でも「ありがとうございます。す。」と言わせてください。

今年「ペトロ・カスイ岐部」と一八七殉教者」列福の年です。新潟教区からも米沢の殉教者が入っています。命がけで信仰を守った人々が昔、いたという事、これも「ありがたい」事です。その尊い犠牲の上に現在の教会はあるのですから。厳律シトー会(トラピ

スト会)で聞いた話ですが、赤い殉教と白い殉教があるそうです。赤い殉教は、血を流して、命をさげること。白い殉教は血を流すことはいけなくても、日々の生活の中の苦しみをささげる生き方。どちらも大切にされているそうです。

現代、日本で赤い殉教はほとんどありませんが、白い殉教はたくさんあるので、はいではないでしょうか。

貧困や病気、差別は決して無くなることはありません。どうしようもない事、理不尽な事が多いのは、昔も今も、それほど変わらないのです。

今年例年になく復活祭が早く来しました。そのおかげで、三月三十一日「お告げ」の祭日になり、叙階式の翌日にはじめの助祭奉仕を「お告げ」の日にする恵みにあずかりました。

聖母マリア様の天使ガブリエルに対する返事。「おことばどおり、この身になりますように。」神様への全き信頼の返事は信仰者の模範とされます。

変えることができる事は変えて、変えることができないことは受け入れることができますように、これからも「ありがたい」事が皆様にありますように。お会いできる日を楽しみにしております。アーメン。

司祭人事

*カッコ内はこれまでの任務 (四月一日付任命)

《秋田地区》

▼永山 誠神父は秋田教会助任(長崎教区から転入)
▼フェリックス・ロボ神父は教区外へ転出(秋田教会助任)

《山形地区》

▼本間研二神父は山形教会(新庄集会所)主任(鶴岡教会主任・酒田教会主任兼任)
▼ウイリアム・ドネガン神父は鶴岡教会主任・酒田教会主任兼任(米沢教会(巡回長井教会)主任)

▼成田浄司神父は米沢教会(巡回長井教会)主任(イエズス・マリア聖心会管区長)

▼ピアス・マレン神父は教区外へ転出(山形教会(新庄集会所)主任)
▼トニー・ピスワス神父は教区外へ転出(山形教会協力)

《新潟地区、新発田地区》

▼佐藤允広神父は新発田教会(巡回村上教会)主任(三条教会主任・栃尾教会主任兼任)
▼石黒晃泰神父は三条教会主任(新発田教会(巡回村上教会)主任)

▼真壁良雄神父は見附教会主任・栃尾教会主任兼任(見附教会主任)
▼高橋 学神父は見附教会助任・栃尾教会助任兼任(見附教会助任)

新潟教区二〇〇七年度決算概要

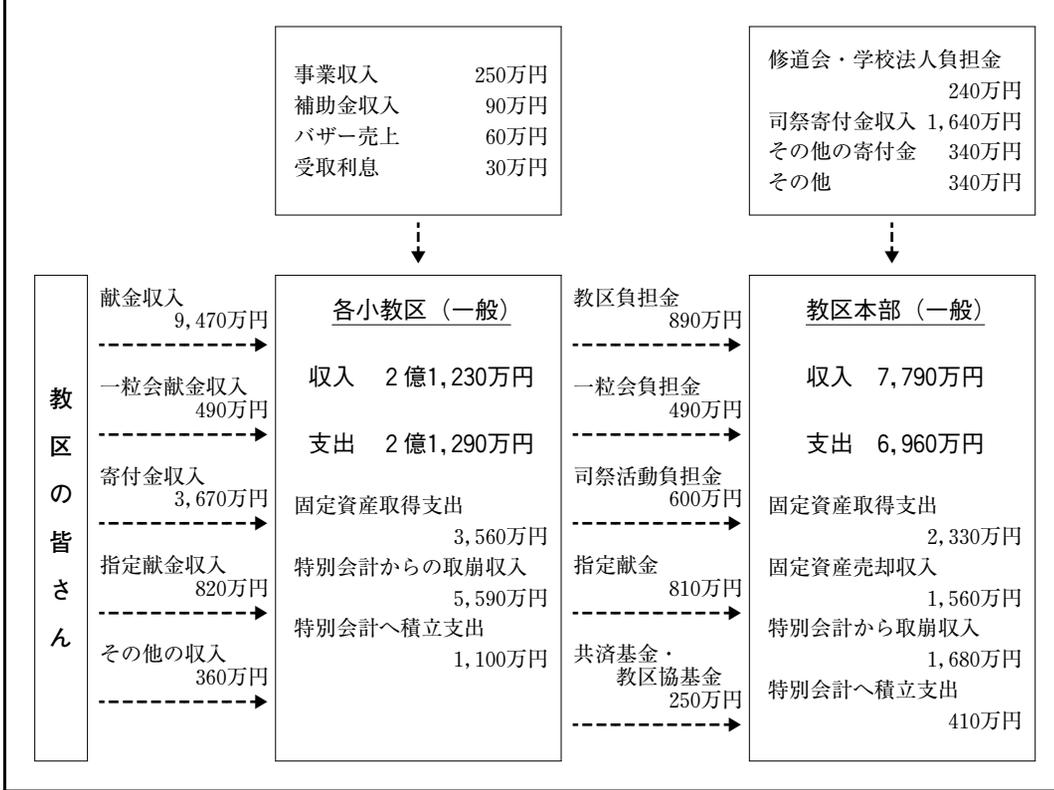
教区財政の支え

新潟教区の財政を支えるのは、信者の皆さんです。各小教区の財政をみますと、毎月信者の皆さんから納めていただいております。教会維持費、ミサ献金、各教会の建設・維持管理のため特別基金等への献金、結婚式・葬儀等の祭儀献金、司祭活動献金などの献金収入が経常収入額の六割を占めております。ここに一粒会費、寄付金を含めると九割に

なります。

教区本部においては、各小教区からの教区維持費(教会維持費、ミサ献金等献金収入の一粒会資金収支の黒字分三三四万円を司祭会計と、一粒会会計の別会計に振替える金額を差引くと、実質二九五万円の赤字となりました。前年度と比較いたしますと、一般会計全体で七一〇万円、実質で二三一万円ほど改善されています。

〈主な収入・支出の流れ〉



教区本部の収支状況

実質三〇〇万円の赤字

二〇〇七年度の教区本部一般会計は、全体で八二七万円の赤字となりましたが、司祭給与資金収支の黒字分七八九万円と一粒会資金収支の黒字分三三四万円を司祭会計と、一粒会会計の別会計に振替える金額を差引くと、実質二九五万円の赤字となりました。前年度と比較いたしますと、一般会計全体で七一〇万円、実質で二三一万円ほど改善されています。

財務収支を除いた経常収支額は、経常収入四、五五三万円(対前年度前年度比四八五万円増)、経常支出四、二二五万円(対前年度比二七一万円増)となりました。財務収支額は、土地建物等の売却・取得と特別会計の振替で今年度新たに財務収入三、二三八万円、財務支出二、七四〇万円が発生いたしました。

以上の概要を、前年度との増減内容を見ますと、次の四点をあげることができます。

① 新しい司祭制度の導入
 昨年五月から、新潟地区と新潟田地区で、新しい司祭の給与制度が導入され、この地区の司祭の給与は、教区本部から支給することになりました。

ただし、幼稚園長等を兼務している司祭は、司祭基本給に園長兼務手当と経費を加算した額を手元に残し、残額は本部に寄付金として納める制度です。

本部では、司祭寄付金と各小

教区本部の収支状況

活動費をプールし、これを司祭の給与資金としております。この制度の導入により、司祭寄付金収入は前年比二三〇万円増となり、司祭人件費の支出額は、幼稚園で活動する司祭が増えたこともあり三三七万円の減となりました。

② 土地建物等固定資産の売却と取得
 新潟田市と秋田大仙市の都市計画整備のため、教会所有地と建物を市に売却しました。また、新潟田教会では、隣接地を代替地として購入いたしました。

この売却収入は一、五五五万円、代替地の取得額は九七八万円となりましたが、その差額はそれぞれの実質所有者である小教区、修道会に寄付金として支払いました。

③ ヴィアンネ館の改修
 司教館奥のヴィアンネ館の老朽化が著しいためと、ご病氣や高齢の司祭のための住居の整備と会議室への改造を含め、一部改修を行いました。この改修のための費用は一、三三三万円を要しましたが、司祭基金会計から一、〇〇〇万円の振替と司祭団からの寄付金で大半を賄いました。

④ 特別会計の振替
 ・預り金会計から一般会計へ六八二万円振替

各小教区から送金いただいて

いる指定献金は預り金会計で処理してありますが、新潟教区に一定金額を残しカトリック中央協議会等本部に送金している取扱のものがあります。

この過年度の繰越金額を一般会計に組入れました。司祭基金会計から一般会計へ一、〇〇〇万円振替

前述のヴィアンネ館改修工事のための資金として組入れました。

一般会計から一粒会会計へ四〇七万円振替
 平成十八年度に一粒会規定が制定され、独立会計として処理することになったため、平成十八年度分の収支差額を一粒会会計へ振替しました。

小教区の収支状況
 小教区の一般会計は、全体で六五五万円の赤字です。

経常収支で大きな動きを見ますと、次のことが言えます。献金収入では、教会維持費、ミサ献金合計額で対前年比三四一万円減となりましたが、一般献金、祭儀献金合計額では四八七万円の増となりました。

寄付金収入は中越沖地震の義援金の受入れが要因で、対前年度比一、一〇〇万円ほど増えました。

宗教活動費支出は対前年度比八一〇万円ほど増加しています。が、献堂記念式典費用、中越沖地震の義援金(寄付金)がその要因です。

二、二六〇万円ほど増えています。

財務関係の収支としては、土地・建物等固定資産の取得で三、五六〇万円の支出があり、建設・維持管理のための積立金(特別会計)から五、五九〇万円一般会計へ組入れられています。

また、一般会計から建設・維持管理等の特別会計へ一、〇九五万円積み立てられました。

教区本部における
 取組事項と今後の課題
 財政基盤充実のための当面の取組事項は、先回発行の教区報と順次開催している地区別の財務関係説明会でお話ししておりますので、ご協力をお願いいたします。

説明会でも、小教区それぞれ教会の立て直しや修理のため何年後にいくらかかるか、その資金手当てをどうするかが課題としてあがっています。

教会維持費、ミサ献金の減少については、残念ながらどこでも同じ傾向が続いています。高齢化、経済情勢等様々な要因があると思います。

また、これからの司祭の高齢化についても大きな課題があります。

経済問題諮問委員会、宣教司牧評議会でいろいろ検討していただいておりますが、今後とも皆様の経済的なご協力をよろしくお願いたします。

(教区事務局長 大瀧浩一)

2007年(平成19年)度教区本部一般会計収支

(2007年12月31日現在) (単位:千円)

項目	平成19年度	平成18年度	対前年度比
負担金収入	22,257	21,683	574
教区負担金(教区維持費)	8,944	8,534	410
司祭活動負担金	6,030	6,167	-137
一粒会負担金	4,878	4,612	266
学校法人・修道会負担金	2,405	2,370	35
寄付金収入	19,838	16,594	3,244
司祭寄付金	16,400	14,100	2,300
一般寄付金等	3,438	2,494	944
献金収入	2,473	2,096	377
その他の経常収入	965	311	654
(経常収入計)	(45,533)	(40,684)	(4,849)
財務収入	32,379	0	32,379
A 収入合計	77,912	40,684	37,228

宗教活動費	13,617	6,951	6,666
神学生養成費	2,351	541	1,810
祭儀費等	11,266	6,410	4,856
事務運営費	5,775	5,370	405
人件費	22,351	24,996	-2,645
司祭人件費(含法定福利費)	14,538	17,913	-3,375
職員人件費	7,813	7,083	730
その他の経常支出	503	2,214	-1,711
(経常支出計)	(42,246)	(39,531)	(2,715)
財務支出	27,393	0	27,393
B 支出合計	69,639	39,531	30,108
①収支差額(A-B)	8,273	1,153	7,120

<司祭寄付金等と司祭人件費>

司祭寄付金・司祭活動負担金	22,430	20,267	2,163
司祭人件費(含法定福利費)	14,538	17,913	-3,375
②司祭人件費等収支額	7,892	2,354	5,538

<一粒会負担金と神学生養成費>

一粒会負担金・その他特別献金	5,690	4,758	932
神学生養成費	2,139	541	1,598
地区錬成会等補助	212	146	66
③一粒会収支額	3,339	4,071	-732
実質収支額(①-②-③)	-2,958	-5,272	2,314

2007年(平成19年)度小教区一般会計収支

(2007年12月31日現在) (単位:千円)

項目	平成19年度	平成18年度	対前年度比
献金収入	94,650	92,841	1,809
教会維持費収入	50,977	53,735	-2,758
ミサ献金収入	23,978	24,635	-657
一般・臨時献金収入	5,923	3,781	2,142
祭儀献金収入	7,190	4,461	2,729
司祭活動献金収入	6,582	6,229	353
指定献金収入	8,240	7,709	531
一粒会献金収入	4,886	4,793	93
寄付金収入	36,687	25,642	11,045
事業収入	2,488	3,693	-1,205
その他の経常収入	5,441	7,020	-1,579
財務収入	59,888	43,974	15,914
収入合計	212,280	185,672	26,608

宗教活動費	56,584	48,474	8,110
指定献金支出	8,494	8,113	381
一粒会献金支出	4,813	4,589	224
事務運営費	35,341	32,125	3,216
人件費	16,201	8,400	7,801
維持管理費	36,594	14,985	21,609
事業支出	721	550	171
その他の経常支出	2,633	427	2,206
財務支出	51,550	56,234	-4,684
支出合計	212,931	173,897	39,034
①収支差額	-651	11,775	-12,426

2007年(平成19年)度指定献金受入報告

(単位:円)

項目	受入額
カトリック児童福祉の日献金	1,169,156
教区青少年の日献金	413,528
四旬節愛の献金	1,795,911
聖地のための献金	348,528
世界広報の日献金	463,142
聖ペトロ使徒座への献金	516,113
世界難民移住移動者の日献金	606,088
世界宣教の日献金	521,758
宣教地司祭育成の日献金	582,807
列福特別献金	1,485,703
その他(クリスマス献金等)	214,768
合計額	8,117,502

新潟司教区統計

(2007年12月31日現在)

1. 概況

(教区人口比:0.16%)

面積……………33,518km² 信者総数……………7,355人
人口……………4,723,092人 求道者……………90人

2. 人員構成

司教……………1 聖霊奉侍布教修道女会 邦人……………9
教区司祭 邦人……………15 外国人……………1
外国人……………1 聖心の布教姉妹会 邦人……………50
助祭 邦人……………0 マリアの宣教者
神言会員 邦人……………5 フランシスコ修道会 邦人……………4
外国人……………5 ナミュール・
フランシスコ会員 外国人……………5 ノートルダム修道女会 邦人……………6
邦人(修道士)…1 無原罪の聖母
イエズス・ フランシスコ姉妹会 邦人……………0
外国人……………3
マリアの聖心会員 邦人……………1 外国人……………4
外国人……………4 オタワ愛徳修道女会 邦人……………4
外国人……………0
他教区から派遣司祭 外国人……………2 外国人……………0
神学生 邦人……………1 聖クララ会 邦人……………9
聖マリア在俗会 邦人……………16

3. 事業

小教区教会……………31 幼稚園……………27
分教会・巡回教会……………5 園児数……………2,829
集会所……………4 女子中学校……………2
女子修道院……………10 生徒数……………180
社会福祉事業 女子高等学校……………2
老人ホーム……………3 生徒数……………1,193
宿泊を伴う利用者数……………195 女子短期大学……………2
その他の老人福祉事業……………11 学生数……………610
宿泊を伴う利用者数……………135 児童福祉事業
宿泊を伴わない(年間のべ人数)…38,319 保育園……………8
その他の福祉事業……………3 園児数(年間のべ人数)…158,701
宿泊を伴う利用者数……………22 宿泊を伴う利用者数……………0
宿泊を伴わない(年間のべ人数)…3,556 その他の児童福祉事業……………7
宿泊を伴う利用者数……………12,346
宿泊を伴わない(年間のべ人数)…777

4. 移動

転入 転出 死亡……………95
教区内……………18 ……………13
教区外……………27 ……………50
その他……………19 ……………112